

4-1-13 教育研修

1. 概要

国立成育医療センターは、開院当初より「臨床」、「研究」、「情報」、「教育・研修」を成育医療の4つの柱として掲げ、特に教育・研修に関しては、成育医療に関わる医師および看護師等のコメディカルスタッフの教育、研修を行うことを進めてきた。

2. 教育・研修委員会

教育・研修委員会は、センター職員およびセンター内で働く関係者、研修者の医療技術・知識の向上、患者サービスの向上、医療安全技術・知識の向上等を図るために必要なプログラム作成、システム作成、およびその実施状況を把握、調整、指導する組織であり、委員長、副委員長および院内各部門の部会長で構成している。部会は、医師部会、看護師部会、薬剤師部会、検査技師部会、放射線技師部会、事務部会があり部門ごとに研修計画と立案し実施している。

3. 研修方法

職員の日常の業務の中に研修時間を確保することが困難になってきている。さらに特定の時間帯に全職員が集合する時間を確保することは不可能である。このため従来の集合型研修だけでは時間的にも内容的にも不十分であるため、各職員が自由な時間に研修を実施できる方法としてオンディマンド型の研修方式を3年前に採用した。院内のネットワークシステムと業務用端末を利用して、イー・ラーニング・サーバーを設置していつでも院内の業務端末、その他の端末から好きな時間帯にPCの画面での研修を行えるシステムであり、感染管理、リスクマネージメントの研修として運用を開始した。

作成した教材

医療安全対策

感染対策入門

今後は、集合型研修とイー・ラーニングによるオンディマンド型研修を組み合わせ実施する。

4. 新採用者研修

病院の新採用者の研修は、医療安全、この病院の規則等を周知するために採用日から数日をかけて実施している。年度初めは採用者が多いため、全体研修として十分な時間を使って研修を行っている。毎月の採用者に対しても同様の研修を5月～3月まで11回実施した。

4.1 新年度新採用者研修

4月1日付け採用者は、医師54名、看護師71名、医師・看護師以外45名の新採用者研

修を実施した。

今年度実施した研修スケジュール

第1日目 (共通)

オリエンテーション (赤澤教育研修部長)

辞令交付・採用時諸手続き等 (人事、給与、厚生)

職員用ガイドブック説明 (赤澤教育研修部長)

休憩・昼食

国立成育医療センターの理念と方針 (名取副院長)

職員倫理 (石川庶務課長)

災害時の対応等 (石川庶務課長 10+鈴木宮繕専門官 10)

病院情報システム (山野辺医療情報室長)

運営部概要説明 (香西運営部次長)

休憩

研究所概要説明 (倉辻研究所長)

診療部<病棟説明含む> 概要説明 (赤澤教育・研修部長)

看護部 概要説明 (齋藤看護部長)

安全管理 (吉岡リスクマネージャー)

第2日目 (共通)

感染管理について (島田感染管理認定看護師)

診療報酬について (久保田医事専門官 40 + 赤澤教育・研修部長 40)

休憩

外来 概要説明 (赤澤教育・研修部長 20 + 檜原看護師長 20)

救急センター 概要説明 (救急診療科 羽鳥医長 + 林看護師長 20)

医事課 概要説明<特定療養費、特室料金、医療連携等について> (医事課)

休憩・昼食

臨床検査部 概要説明 (上原臨床検査技師長)

手術室 概要説明 (阪井手術・集中治療部長 20 + 浦川看護師長 : 20)

SPDシステム 概要説明 (膠原病感染症科小林医員 20 + 林看護師長 20)

休憩

放射線診療部 概要説明 (正木放射線診療部長 20+福原副診療放射線技師長 20)

栄養管理部 概要説明 (二木栄養係主任)

会計課 概要説明<財政制度について> (古川会計課長補佐)

治験について(中村治験管理室長)

薬剤業務について (筒井薬剤部薬務主任)

第3日目

医師

電子カルテ講習 1・2

看護師

看護の法的責任と看護倫理(吉岡看護師長)

看護におけるインフォームド・コンセント(清水副看護師長)

休憩

看護過程の展開と看護記録(早坂看護師長)

休憩

院内教育(八代看護師長)

病棟紹介(八代師長、早坂師長、阿部師長、切手師長、宮澤師長 各10分)

休憩

病院案内

第4日目

医師

電子カルテ講習 3

看護師

病棟研修

第5・6日目

看護師

電子カルテ講習・医療機器技術講習・病棟研修

第7日目

共通

MEセンター 概要説明(今井臨床工学技師)

SCANチーム概要(総合診療部 松本医員)

サービス・マナー研修(㈱ベターコミュニケーション)

休憩

医師 電子カルテ講習 4

看護師 医療機器全体研修

第8日目

医師 電子カルテ講習 4

4.2 毎月の新採用者研修

5月以降の新採用者研修は、新年度研修の重要項目以外は簡略化して実施している。

スケジュール

第1日目

病院情報システム概要

休憩

安全管理

感染管理

第2日目

電子カルテ研修1・2

第3日目

病院概要、各部門説明

休憩

薬剤部

5. 医師研修

5.1 レジデント研修

定員122名のレジデントが各診療科で研修を行っている。2年～3年間の研修期間にあわせた研修プログラムの作成を各診療科に依頼し作成し毎年更新している。プログラムの構成は、キャリアパスを明確にするため、ジェネラリストコース、スペシャリストコース、トレーナーコース、再チャレンジコースを設定することになった。それぞれのコースには研修概要、スケジュール、到達目標、評価を中心に当センターでのレジデント研修を希望する医師にわかりやすい記述での作成をおこなった。

- ・ジェネラリストコース：医師免許取得後3年目以降の医師を対象とした、小児科または産科の専門医取得コース（3年課程）

- ・スペシャリストコース：医師免許取得後6年目以降でジェネラリストコース修了程度を対象とした、小児科または産科のサブスペシャリティの専門医取得コース。2年課程。

- ・トレーナーコース：医師免許取得後8年目以降でスペシャリストコース修了程度の医師を対象とした各学会の認定指導医取得コース。2年課程。

再チャレンジコース：離職・退職していた医師が成育医療現場に復帰するための研修や、成育医療以外の専門を持つ医師が成育医療へも参加できるようにするための研修等を提供するコース

5.2 医学部学生実習

医学部学生の臨床実習として、1週間から4週間程度の実習の受け入れを行っている。総

合診療部、小児内科系、外科系専門診療部、心の診療部、周産期診療部での実習受け入れを行っている。

5.3 医師初期臨床研修

国立病院機構東京医療センターの協力病院として、2年間の初期臨床研修期間の小児科研修期間のうち1ヶ月間を総合診療部救急診療科で研修をおこなうプログラムを実施し、年間24名前後の研修医を受け入れている。